

# Red Hat コンサルティング: AI インキュベーター

## ソリューション概要

Red Hat コンサルティングの支援を受けながら、特定の AI ユースケースを設計および検証し、Red Hat AI 上の組織のワークフローを単純化します

## ユースケースのハイライト

[RTLZWEI](#) が Red Hat コンサルティングおよび Red Hat トレーニングを活用して高度な AI 機能を構築し、システムをモダン化した方法をご覧ください。

「Red Hat OpenShift AI を使用することで、社内の AI スキルセットを構築しています。... 優れたトレーニングと Red Hat コンサルティングのサポートのおかげで、最初のユースケースで大きな進展が得られました」<sup>1</sup>

### Benjamin Weiss 氏

RTLZWEI

主任データサイエンティスト

## IT 環境で AI の実験を始める

AI の急増によって生まれる技術的な可能性は計り知れませんが、多くの組織は、一般的な概念から先へと進めることや、パイロットをプロダクションへと拡張することに困難を感じています。Red Hat® コンサルティング: AI インキュベーターは、このギャップを埋めるのに役立ちます。IT チームと協力して、好奇心を促進して測定可能な結果を引き出します。Red Hat コンサルティングは、生成 AI と予測型 AI を一貫性のあるセキュリティ重視のプラットフォームに統合することで、IT チームが実験的なアイデアをビジネス向けのスケーラブルな戦略へと転換できるよう支援します。

## Red Hat コンサルティング: AI インキュベーターの詳細

AI インキュベーターは Red Hat コンサルティングによるエンゲージメントであり、構造化された参加型ワークショップ形式の研修を Red Hat のエキスパートが提供します。これにより、組織の IT 環境で IT チームが生成 AI または予測型 AI ソリューションのプロトタイプを作成し、リリースできるよう支援します。Red Hat コンサルティングのエキスパートは IT チームと連携することで、チームが特定のユースケースに集中し、イノベーションを実現して、長期的に効果を発揮できるよう活気づけます。このエンゲージメントにより、組織の IT チームは、共創やワークフローの分断解消を通じて、ベストプラクティスやスキルを学ぶことができます。AI インキュベーターは、将来の AI ユースケースの構築に使用できるブループリントも提供します。

### AI インキュベーターがもたらすメリット

- ▶ 共有のツール、プロセス、スキルにより、社内の機械学習運用 (MLOps)、ビジネス運用、セキュリティ、開発者、データサイエンティスト、データ・エンジニアリング・チームの連携を支援します。
- ▶ スタッフの効率性や有効性の向上に役立ちます。
- ▶ IT チームと連携して、既存の IT 環境に適合するカスタムのプロダクション対応 AI アプリケーションのプロトタイプを作成します。
- ▶ MLOps と AI エンジニアリングチームに、プロダクション対応の AI を扱うために必要なスキルを提供します。

当社のエキスパートが週単位で組織のチームと連携して AI ユースケースのアクティビティに取り組みます。図 1 は、AI インキュベーターのエンゲージメント・スケジュールの例です。

f [fb.com/RedHatJapan](https://fb.com/RedHatJapan)

✕ [twitter.com/RedHatJapan](https://twitter.com/RedHatJapan)

in [linkedin.com/company/red-hat](https://linkedin.com/company/red-hat)

1 Red Hat 導入事例、「[RTLZWEI, Red Hat OpenShift AI で競争力を強化](#)」、2025 年 12 月 22 日。

| 週                 | フェーズ | 概要          | 生成 AI のユースケースのアクティビティ              |                  |
|-------------------|------|-------------|------------------------------------|------------------|
| 1                 | I    | チームの編成      | 作業方法および AI インキュベーターの成果を理解する方法を確立する |                  |
|                   |      |             | 全体的なソリューション・アーキテクチャ                |                  |
|                   |      |             | 作業の細分化                             |                  |
|                   |      |             |                                    | 環境のセットアップ        |
|                   |      |             |                                    | ツールのセットアップ       |
|                   | II   | データエンジニアリング | ユースケースのためにデータにアクセスできるようにする方法を検討する  | データの Ingress と変換 |
| データのチャンク化とメタデータ処理 |      |             |                                    |                  |
|                   |      |             |                                    |                  |
| 2                 | III  | AI エンジニアリング | データサイエンス・パイプラインを開発する               |                  |
|                   |      |             | プロンプトエンジニアリングとチューニング               |                  |
|                   |      |             | 取得アーキテクチャ                          |                  |
|                   |      |             | モデルの選択                             |                  |
| 3                 | IV   | モデル提供       | モデル提供のためのパイプラインを開発する               |                  |
|                   |      |             | アプリケーション・プログラミング・インタフェース (API) の統合 |                  |
|                   |      |             | 仮想大規模言語モデル (vLLM) のチューニング          |                  |
|                   |      |             | 防護機能                               |                  |
| 4                 | V    | フィードバック     | 可観測性とフィードバック処理に関する懸念に対処する          |                  |
|                   |      |             | メトリクス                              |                  |
|                   |      |             | 評価                                 |                  |
|                   |      |             |                                    | フィードバックプロセス      |
|                   | VI   | 次のステップ      | 将来的な機能強化を特定する                      |                  |

図 1. AI インキュベーターのスケジュール例

Red Hat コンサルティングは、組織のビジネスワークフローにとって最も意味のある実際のユースケースへの取り組みを支援し、適切なチームが連携して AI の成果の実現を加速できるようにします。Red Hat コンサルティングでは、表 1 に挙げた AI ユースケースのリストから始めることを推奨しています。

**表 1: 開始時に考慮すべき AI ユースケース**

| ユースケース                   | 例   |
|--------------------------|---|
| AI Platform-as-a-Service | <ul style="list-style-type: none"><li>▶ Models-as-a-Service</li><li>▶ GPU-as-a-Service</li></ul>                              |
| エージェント型 AI               | <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 精度とパフォーマンスの評価</li><li>▶ エンタープライズ・セキュリティ防護機能</li></ul>                                 |
| GenAIOps                 | <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 大規模言語モデル (LLM) のライフサイクル管理</li><li>▶ 検索拡張生成 (RAG) とモデル・ファインチューニングのパイプラインの自動化</li></ul> |
| プライベート AI ファクトリーとソブリン AI | <ul style="list-style-type: none"><li>▶ オンプレミスのエアギャップ環境</li><li>▶ データ主権とコンプライアンス</li></ul>                                    |

Red Hat コンサルティングは、実装を通じて組織が具体的な成果を達成できるように支援します。各ユースケースのプロトタイプ作成およびデプロイ後に期待できる成果を確認します。

### AI Platform-as-a-Service

- ▶ **生産性の向上:** 事前に承認されたセルフサービスの環境を作成することで IT の障害を回避し、チームはプロトタイプ作成とデプロイを数カ月ではなく数日で完了できます。
- ▶ **予測可能なコスト:** AI を多額の設備投資から柔軟な運用コストの対象へと移行させ、アイドル状態のハードウェアのリスクを排除します。
- ▶ **ガバナンスの標準化:** セキュリティツールおよびコンプライアンスツールを一元化することで、開発者の作業スピードを低下させることなく、各プロジェクトが自動的に会社の標準を遵守するようにできます。
- ▶ **セキュリティの強化:** シャドー AI のリスクを排除し、エンタープライズ認証シングルサインオン (SSO)、ネットワークの分離、アクセス制御 (RBAC) を各ユーザーに対して自動的に適用する承認されたプラットフォームを提供します。

## エージェント型 AI

- ▶ **労働力の増強**：専門的な知識を活用し、ただ質問に答えるのではなく、複雑なマルチステップの手順（クレームの解決、コードの監査など）を自律的に実行できるデジタルワークフローを作成します。
- ▶ **運用オーバーヘッドの削減**：エンドツーエンドのプロセスを AI エージェントが年中無休で処理できるようにすることで、ルーチン作業の運用コストを削減します。
- ▶ **パフォーマンスの向上**：受け身のチャット・コミュニケーションからリアルタイムのアクションへと移行し、そのデータを顧客関係管理 (CRM) の更新、メールの送信、API 呼び出しのトリガーなどのプロセスへとつなぎます。
- ▶ **信頼できる自律性**：厳格な境界と人間が関与する防護機能を適用し、エージェントが不正なデータにアクセスしたり、承認なしにリスクの高いアクションを実行したりすることのないようにします。

## GenAIOps

- ▶ **コストとパフォーマンスの最適化**：モデルを縮小（量子化）してより効率的に実行できるようにすることで、コストとハードウェアを削減し、AI の投資対効果を最大化します。
- ▶ **信頼性（可観測性）**：不要な不安を排除し、モデルの推論の各ステップまで掘り下げて可視化することで、IT スタッフはより短時間でエラーを追跡し、ハルシネーションを修正できます。
- ▶ **反復サイクルの迅速化**：自動化されたテストフレームワークでモデルのアップデートを安全かつ迅速にデプロイし、新しいバージョンが既存のアプリケーションに悪影響を与えないようにします。
- ▶ **AI リスク管理**：プロンプトインジェクション、個人を特定できる情報 (PII) の漏洩、バイアスなどの脆弱性の検出を自動化し、セキュリティの脅威がプロダクション環境に到達する前に安全ではないモデルバージョンをブロックします。

## プライベート AI ファクトリーとソブリン AI

- ▶ **戦略的な柔軟性とセキュリティ**：オンプレミス、エッジ、プライベートクラウドなど、どこでも AI を構築して実行でき、重要なデータ主権やレジデンシーのニーズに対応します。
- ▶ **データアクセスの制限**：セキュリティ境界を超えることなく、最も価値のある機密データ (PII など) に対して AI トレーニングを使用できます。
- ▶ **ベンダーロックインの回避**：モデルの重み付けとロードマップの所有権を確保することで、ビジネス継続性を保護します。この保護により、パブリッククラウドの価格上昇やポリシーの変更から組織を守ることができます。
- ▶ **監査対応のコンプライアンス**：完全なデータ分離（エアギャップ機能）をサポートし、一般データ保護規則 (GDPR) や Health Insurance Portability and Accountability Act (HIPAA) など、最も厳格な規制基準を満たします。これはパブリッククラウドでは不可能です。

## Red Hat サービスの利用を始める

Red Hat は、組織が AI の導入を検討、拡張、成功できるよう支援します。Red Hat サービスを利用すると、AI への投資効果を最大化し、信頼性の高いセキュリティ、コンプライアンス、ハイブリッドクラウド開発のために設計されたオープンでスケーラブルな AI プラットフォーム上で AI モデルを構築および実行するためのサポートを得られます。実績のあるフレームワークと再利用可能なパターンにより、Red Hat サービスは、AI コースケースの成果をより効率的で安全、かつ大規模に実現できるように支援します。

- ▶ [Red Hat コンサルティング](#) : Red Hat コンサルタントは、実践的なメンタリングによって IT スキルの構築や運用上の独立性の促進を支援すると同時に、面倒なプロセスの最適化、まとまりのない IT チームの調整、イノベーションの加速を実現します。
- ▶ [Red Hat トレーニングと認定](#) : 新たなオープンソース・テクノロジーや基礎的なオープンソース・テクノロジーについてロールベースの実践的な知識を身につけることで、スキルギャップを解消し、チームの Red Hat AI 製品に関する専門知識を磨きます。当社の[カリキュラム](#)は、Red Hat AI ユーザーが知識を強化し、スキルを磨くことで生産性を向上させ、キャリアを築けるよう支援します。
- ▶ [Red Hat テクニカル・アカウント・マネジメント \(TAM\)](#) : Red Hat テクニカルアカウントマネージャーはお客様の組織と提携し、潜在的な問題の未然解決、障害の抑制、重要なビジネス上の課題に集中するための時間の確保を支援します。

利用を開始する準備は整っていますか？ 貴社の Red Hat アカウントチーム、または[Red Hat コンサルタント](#)までお問い合わせください。



## Red Hat について

エンタープライズ・オープンソースソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

|   |                                  |                                 |                           |
|---|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------|
| <b>アジア太平洋</b><br>+65 6490 4200<br>apac@redhat.com | <b>インドネシア</b><br>001 803 440 224 | <b>マレーシア</b><br>1800 812 678    | <b>中国</b><br>800 810 2100 |
| <b>オーストラリア</b><br>1800 733 428                    | <b>日本</b><br>03 4590 7472        | <b>ニュージーランド</b><br>0800 450 503 | <b>香港</b><br>800 901 222  |
| <b>インド</b><br>+91 22 3987 8888                    | <b>韓国</b><br>080 708 0880        | <b>シンガポール</b><br>800 448 1430   | <b>台湾</b><br>0800 666 052 |

**f** fb.com/RedHatJapan  
**X** twitter.com/RedHatJapan  
**in** linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com  
#3531637\_0226